

除雪作業の現状（歩道や交差点）

●歩道除雪路線の選定

- ・ 駅や公共施設、商業施設など歩行者の多い中心市街地の歩道
- ・ 交通量が多く通行車両と歩行者の通行区分が必要な幹線道路の歩道
- ・ 通学児童生徒が多く利用する通学路の歩道

○歩道除雪作業は、

「小型のタイヤショベルによる機械作業」であることや「除雪時の雪の堆積スペースの確保」が必要となることから
⇒原則的に『有効幅員が2m以上の歩道』を対象として、中心市街地や一部の幹線道路を除き『片側歩道除雪を基本』

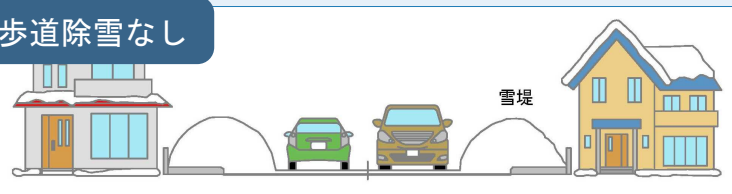
●歩道除雪の課題

- ・ 学校周辺の通学路であっても狭い歩道は除雪車で作業できない
 - ・ 人力（小型除雪機）作業には多くの作業員の確保が必要
 - ・ 十分な道路幅がないと歩道除雪により車道が狭くなる
- ⇒幅員の広い幹線道路等を中心とした歩道除雪

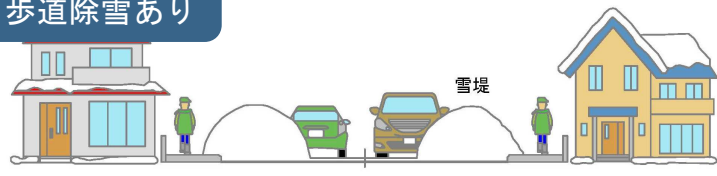
●交差点の課題

- ・ 見通し確保は除雪作業時に行うことが時間的な制約により困難
- ⇒排雪と一連作業の中で行うため市内全体の対応には時間を要する

歩道除雪なし



歩道除雪あり



通学路の歩道除雪の検討

●これまでの取組

- ・ 3学期始業式前に学校周辺の排雪や全市一斉の歩道除雪を実施
- ・ 卒業式に合わせて学校周辺の排雪を実施
- ・ 排雪時に必要に応じて45度カットを行うことで交差点の見通し確保

○児童生徒の安全に配慮した取組を実施しているが・・・

- ・ 歩道除雪が不十分
 - ・ 狭い歩道や両側の歩道除雪の実施
 - ・ 交差点の見通しを確保してほしい など
- ⇒歩道除雪の充実を求める要望が多い

●アクションプログラム

- ・ 道路環境の変化に合わせた歩道除雪路線の修正
- ・ 狭幅員に対応可能な歩道除雪手法の検討
- ・ 交差点の45度カットの実施と検証
- ・ 優先的に見通しを確保する箇所を選定と雪処理強化

生活道路など狭い道路は
堆積スペースが少ない
狭い歩道は
除雪車で作業できない

多くの課題

限られた人員・体制
オペレータの高齢化など
担い手不足

市民の
意見

《持続可能な歩道・通学路の除排雪》

除排雪事業の取り巻く環境のほか
堆積スペースの確保や除雪車が作業できないなど
多くの課題があるが、除雪手法の工夫や
歩道除雪のあり方について検討を進める

除雪企業
の意見